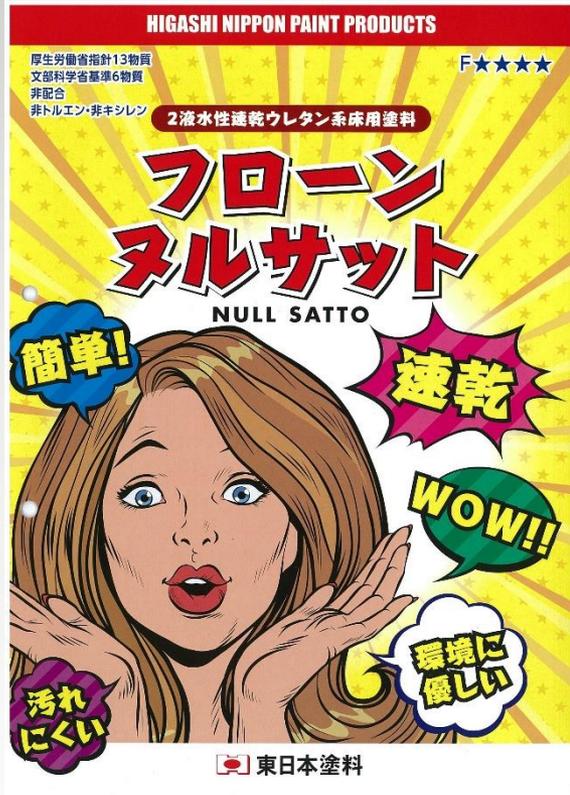


2液水性速乾ウレタン系床用塗料

フローン ヌルサット

NULL SATTO



 東日本塗料株式会社

フローンヌルサットの特長 3本柱



簡 単

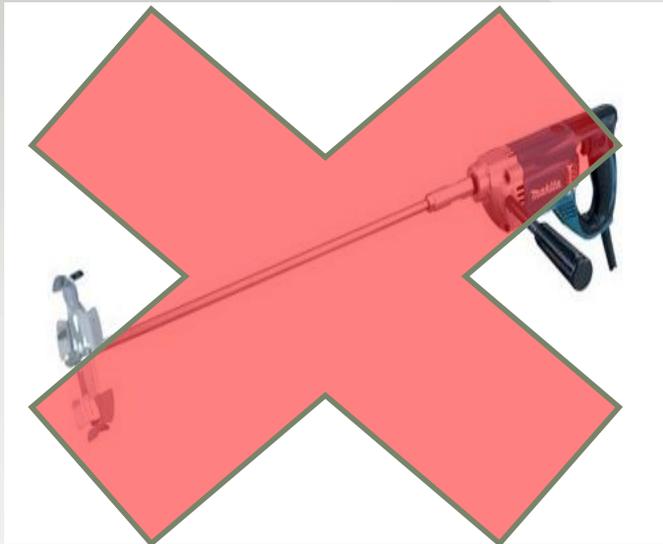
汚れにくい

速 乾

3本柱の1つ目

簡単①

2液タイプでありながら、**電動攪拌機が不要**です。



工場等の作業員の方でも**簡単**です。

※電動攪拌機も使用可能です。

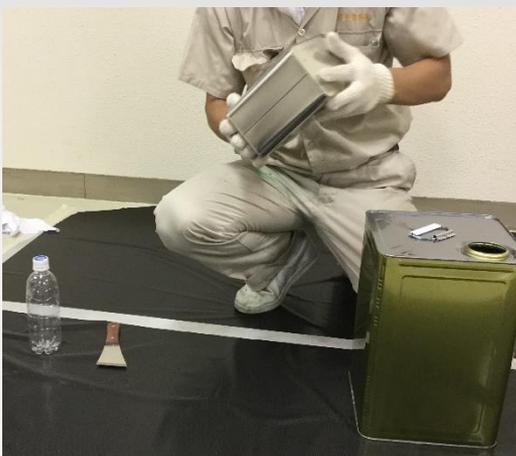
缶内攪拌方法



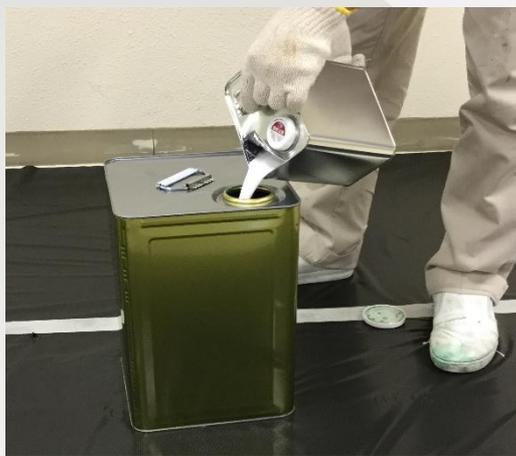
① A液にB液を全量入れる。



② B液容器に水を500ml入れる。



③ B液容器を20回振り、B液をすすぎ洗いのする。



④ B液容器の水をA液容器に全量入れる。



⑤ A液容器を逆さにして15回、元に戻して15回振る。



☆出来上がり☆

3本柱の1つ目

簡単②

既存塗膜の塗り替えには、**プライマーが不要**です。

■既存塗膜への密着性

商品名	旧塗膜
フローン50・55	○
フローンエポローラー	○
フローン22	○
フローンフルトップ	○
フローンクイックF	○
エポエース	○
ソルエポ90	○
AUコート	○
ハイフローン	○
アースフローンR	○
アースフローン水性	○
フローンアクアエポ	○
パワフルフロアーⅡ	○
水性フロアー	○
フローンアクアファースト	○

既存塗膜は必ず、**目荒し**を行ってください。



汚れによる塗膜剥離を

未然に防ぎます！

3本柱の1つ目

汚れにくい

当社独自の**新規2液水性ウレタンシステム**により従来タイプよりも**緻密な塗膜**を形成し、汚れを寄せ付けません。

ゆえに、フローンヌルサットの塗膜は、

ヒールマークが付着しにくい。



他社品

傷・汚れが付きやすい



従来品



ヌルサット

傷・汚れが付きづらい



配送センター床 施工後1ヵ月、3ヵ月、1年の汚染状態

使用環境：9:00～17:00までリーチリフトが頻繁に走行。
 メンテナンスは、毎朝のホウキでの清掃のみ。

	汎用2液溶剤型ウレタン樹脂塗料	フローンヌルサット	汎用2液水性ウレタン樹脂塗料
1 ヵ 月 後			
3 ヵ 月 後			



配送センター床 施工後1ヵ月、3ヵ月、1年の汚染状態

	汎用2液溶剤型ウレタン樹脂塗料	フローンヌルサット	汎用2液水性ウレタン樹脂塗料
1年後			

※フローンヌルサットは、溶剤型のウレタン樹脂塗料と比較しても同等以上の耐汚染性を有していることが分かる。

3本柱の2つ目

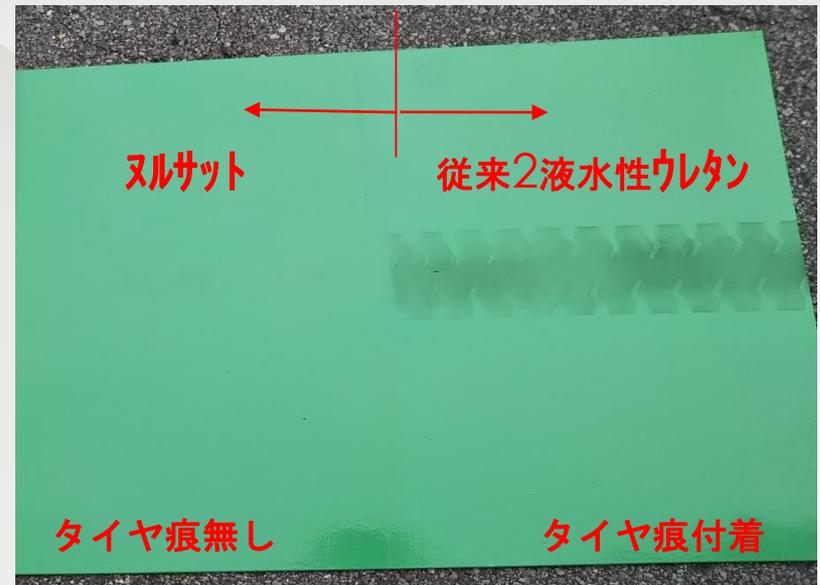
速乾

「限りなく速く、
それでいて長く使える」

を目指しました！！

23℃では2時間で歩行可能、
8時間でフォークリフトが走行可能な速乾性を有しています。

しかも、十分な可使用時間を確保しています。(23℃ 2時間)



8時間後にフォークリフトを走行

容量・配合比・塗装面積

品名	容量			配合比(重量比)		標準塗装面積
	A液	B液	セット	A液	B液	
フローン ヌルサット	12kg	1.2kg	13.2kg	10	1	0.15kg/m ² 回塗りで44m ²
	3kg	0.3kg	3.3kg	10	1	0.15kg/m ² 回塗りで11m ²



13.2kgセット



3.3kgセット

用途

内外部モルタル・コンクリート床面・既存塗膜の塗り替え・工場・倉庫・廊下・階段・駐車場

※アスファルトコンクリート面には施工できません。



色相 色相は色見本帳をご参照下さい。
常備色(6色)、標準色(15色)※受注生産、指定色



◆施工実績 小学校PTA活動（お父さん達による施工）



施工前



施工中



施工後

従来、1液タイプの塗料を使っていたが、
短期間で摩耗してしまうことから、
今回は2液のヌルサットで施工。

初めてローラーを触る方でも無事に終了。
(塗り替え時はプライマー無しでOK)

◆施工実績 新築テント倉庫（社員施工）



施工前



レイタンス除去



プライマー塗り

※コンクリート面にはプライマーを必ず塗布してください。



1層目塗り



2回目塗り

◆仕上がり



■耐薬品性

試験項目	結果	試験条件	試験項目	結果	試験条件
耐水性	◎	水道水、1ヵ月浸漬	耐アルカリ性	◎	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
耐塩水性	◎	20%塩水、スポット試験48時間		◎	10%アンモニア、スポット試験48時間
耐溶剤性	◎	トルエン、スポット試験48時間	耐生活材性	◎	飽和砂糖水、スポット試験48時間
	○	キシレン、スポット試験48時間		◎	醤油、スポット試験48時間
	○	エタノール、スポット試験48時間		◎	ソース、スポット試験48時間
耐酸性	◎	10%塩酸、スポット試験48時間	耐油性	◎	サラダ油、スポット試験48時間
	◎	10%硫酸、スポット試験48時間		◎	灯油、スポット試験48時間
	◎	10%硝酸、スポット試験48時間		◎	エンジンオイル、スポット試験48時間
	○	10%酢酸、スポット試験48時間		◎	切削油、スポット試験48時間

※判定 ◎=異常なし/○=やや艶引け スポット試験はJIS A 5705に準拠

※試験結果は弊社における試験に基づくもので保証値ではありません。

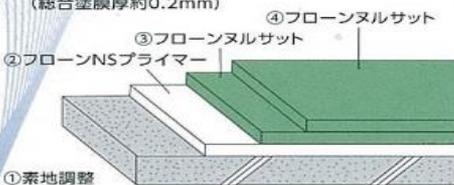
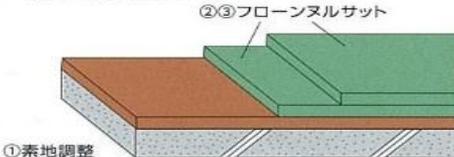
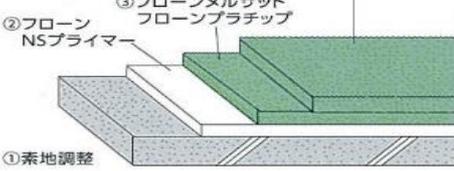
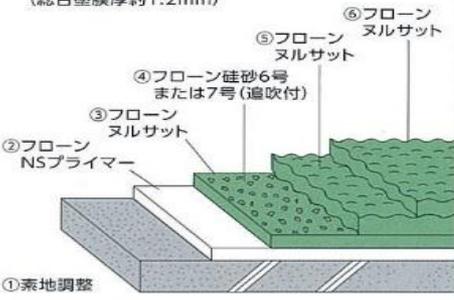
■性状・物性

試験項目	試験結果	試験条件
外観 A液	着色粘稠液	
B液	透明粘稠液	
引っかき硬度	2H	JIS K 5600鉛筆法
摩耗質量	50mg	JIS K 7204テーパー式 摩耗試験機、 CS-17 9.8N 回転数1000回転
鏡面光沢度	80	JIS K 5600入射角60度
耐候性	異常なし	S-W-O-M 500時間
ホルムアルデヒド放散等級	F★★★★	JIS K 5601-4-1

■乾燥性

温度	10℃	23℃	30℃
可使時間	3時間	2時間	1.5時間
上塗り可能時間	3時間	2時間	30分
歩行可能時間	5時間	2時間	2時間
重作業可能時間	18時間	8時間	7時間

標準工法

工法名		工程	材 料 名	使用量 kg/m ²	上塗可能時間 (23℃)	備 考
1	◇コーティング工法 (総合塗膜厚約0.2mm) 	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
		2	フローン NSプライマー ※1	0.15	2~48時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。
		3	フローン ナルサット 水道水	0.15 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
		4	フローン ナルサット 水道水	0.15 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
2	◇既存塗膜面の塗り替え (総合塗膜厚約0.2mm) 	1	素地調整	—	—	既存塗膜の浮き・ハガレ部はケレンし、除去する。また、汚れ・油分・ワックスは除去し、必ずサンダー・ポリッシャー等で目荒しを行う。
		2	フローン ナルサット 水道水	0.15 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
		3	フローン ナルサット 水道水	0.15 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
3	◇プラチップ仕上げ (総合塗膜厚約0.9mm) 	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
		2	フローン NSプライマー ※1	0.15	2~48時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。
		3	フローン ナルサット フローン プラチップ 水道水	0.15 0.0075 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈したフローンナルサットを1に対し、フローンプラチップを5%計量、混合、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
		4	フローン ナルサット フローン プラチップ 水道水	0.15 0.0075 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
4	◇防滑(追吹付)工法 (総合塗膜厚約1.2mm) 	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
		2	フローン NSプライマー ※1	0.15	2~48時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。
		3	フローン ナルサット 水道水	0.15 0.006	直 後	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
		4	フローン シリカ砂6号 または7号(追吹付)	0.3	2~48時間	工程3の直後、リシンガン(口径3~4mm)にてフローンシリカ砂6号または7号を散布。硬化後、余剰なフローンシリカ砂を除去。
		5	フローン ナルサット 水道水	0.2 0.008	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
		6	フローン ナルサット 水道水	0.2 0.008	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	

※1 吸い込みが激しい場合は、再度フローンNSプライマーを塗布して下さい。 ※フローンナルサットの攪拌方法については、使用方法をご参照下さい。

Q&A

Q1 簡易攪拌した材料と、電動攪拌機で攪拌した材料ではどちらの方が塗膜性能が良いですか？	A1 どのように攪拌しても、塗膜性能に差はでませんので現場の状況に応じて、攪拌方法を選択してください。
Q2 極端に攪拌が少ないとどうなりますか？	A2 艶が引け、硬化した塗膜は強度がでません。A液とB液は混ざりやすく設計されていますので、カタログに記載の攪拌方法であれば、問題はありません。
Q3 どんな床に塗れますか？	A3 低臭で、速乾性、耐候性に優れていますので、臭気を気にする工場、倉庫、室内廊下、開放廊下等に適しています。
Q4 厨房に塗装できますか？	A4 他の薄膜系床材にも言えることですが、常に水やお湯を使用している床面には向きません。厚膜タイプをお勧めします。しかし、頻繁には水を使用しない場所であれば問題ありません。
Q5 速乾だけど、溶剤タイプと比べると乾燥は遅いのですか？	A5 溶剤タイプと比べても乾燥は早い方です。溶剤タイプは、暑いとローラー施工時に糸引きを起こす場合がありますが、ヌルサットは糸引きを起こしませんので作業性にも優れています。
Q6 厚塗りできますか？	A6 標準塗布量は、0.15kg/m ² です。厚塗りすると、内部の硬化不良、発泡を起こします。穴埋め等には使用しないで下さい。
Q7 2液混合後、2時間経過しました(23℃)。しかし、余っていてもったいないので塗布していいですか？	A7 可使用時間は23℃で2時間です。2時間を経過したものは、次第に粘度が高くなり、塗布したものは艶、物性が低下しますので塗布しないで下さい。塗装可能な粘度であっても、 可使用時間を越えた材料は使用しないで ください。
Q8 アスファルトコンクリート面に塗れますか？	A8 アスコン面は塗装できません。アスファルトコンクリートの転圧が充分でない場合、塗膜が割れる可能性があります。
Q9 フローンヌルサットを塗りたいのですが、特別な技術は必要ですか？	A10 2液混合後、塗布するだけです。どなたにも簡単に塗ることが出来ます。 可使用時間と、配合比、室内の換気、一度に厚塗りしない ということは、注意して下さい。
Q10 乾燥が遅くなる条件があれば教えてほしい。	A11 乾燥は、施工現場の温度、湿度に影響されます。空気の流れが悪いと塗膜中の水分が蒸発せず、乾燥が遅くなります。出来るだけ換気は良くしてください。